

留学体験レポート

情報文化学科 2年 佐藤帆乃佳

私は韓国のキョンヒ大学に4か月留学してきました。言葉もよく通じない国で、ちゃんと暮らしていけるのか不安でしたが、とても有意義な時間を過ごすことができました。帰ってきて、毎日韓国語に触れることのできる場所で勉強できていたということが、どれほど恵まれていたのかということに気が付きました。どこかへ遊びに行くのにも、電車に乗るのにも、ご飯を食べるのにも、片隅に韓国語があって、すべてが勉強になっていました。

また、実際に行って人の温かさにもたくさん触れました。韓国の人だけでなく、多様な国の友達がたくさんできました。今後、こんなに多様な国の人と一緒に過ごせる機会はないと思います。とても貴重な体験でした。名前もよく知らない国の人もいて、世界の広さを改めて感じました。普段、別の言語を話してうまくコミュニケーションをとれない人と人が、韓国語を通じてこんなに仲良くなれるなんて、とても素晴らしいことだと思います。別々の国で生まれ育ったので、やはり考え方が違ったりしたこともありましたが、話せば仲良くなれたし、みんなとても温かかったです。トウミのお姉さんもとても良くしてくれて、韓国語の上達も手伝ってくれました。新潟から一緒に行った国情の友達とも、寄宿舎で一緒に暮らすことによって、行く前よりずっと仲良くなりました。日本からも、家族や日本の友達がラインやスカイプで元気をくれて、寂しくなってもがんばることができました。みんなのおかげで、毎日楽しく過ごせたと思います。

それから、今まで教科書やドラマで見っていた光景を、実際に自分の目で見るというのも、休みのたびにいろんなところに足を運んで様々な体験をするというのも、普段できないことなのでとても新鮮でした。食べ物も韓国というと辛いものばかりというイメージで、大丈夫かなと思っていましたが、口に合うものばかりで困ることはありませんでした。韓国の食べ物がとても好きになりました。

留学して、勉強していろんなことを自分で実際に体感して、韓国にもいいところがたくさんあったし、日本にもいいところがたくさんあると思いました。韓国も日本も前より好きになりました。そして、韓国で出会った多様な国の友達のおかげで、日本に閉じこもっていないでもっといろんな国に興味を持ちたいと思うようになりました。今回学んだことを生かして、今後も生活していきたいです。